



…『キラキラ』の由来…
NPO・ボランティアなどの活動が活発になり、多くの市民の顔がキラキラ輝くようにという願いを込めました。

なくそう迷惑行為！モラル・マナーアップ北九州

NO:110 平成23年6月15日

…つばやきサロン…

『市民センターで人づくり、まちづくり』

北九州市人権推進センターが毎年制作している「人権啓発アニメーション」23年度版、「探梅 春、遠からじ」の試写会がムーブで行われた。様々な視点から人権啓発映画を児童、幼児向けから高齢者まで幅広い年齢層を対象にした作品は、身近な人権について考えるきっかけづくりになっている。今回の作品は、現在勤務している門司区の市民センターや周辺地域が舞台になっており、是非見ておきたいと出かけた次第である。

久しぶりのムーブであったが、西小倉駅から歩く景色は以前と少し変わっていたが、ムーブやサポートセンター内の雰囲気は、平成14年から4年間、毎週木曜日専門相談員として関わっていた時と変わっていなかった。

現在、市民センターは北九州市の小学校校区を基本に129館あり、コミュニティ、生涯学習、保健福祉、防犯防災、子育て、環境活動等の活動拠点となっている。それぞれの地域がかかえる様々な課題を、自治会や地域諸団体が構成されたまちづくり協議を設置して活動が行われている。

館長として地域の人達のまちづくりのアドバイスに関われることは、苦労もあるが、人と人とのコミュニケーションが生まれる場に参加できることは楽しみでもある。北九州市では、従来の行政主導から住民主体へのまちづくりへの取組みを行っているが、地域ではまちづくり協議会を中心に試行錯誤しながらも、少しずつではあるが「自分達のまちは自分達でつくる」という気持ちになってきていると感じているところだ。

しかし、今後の課題として、北九州市は少子高齢化が進んでおり（平成22年には24・8%と全国平均の23.1%より高い）、核家族化や一人暮らしの高齢者数も増加の一途である。

また、自治会離れが進み、住民同士のつながりが希薄となったことを表す「無縁社会」ということばさえ耳にするようになってきた。

今回、試写で見た人権啓発アニメーション「探梅 春、遠からじ」の舞台となった勤務先の地域は、少子高齢化が顕著であるが、地域全体で子どもを見守る昔ながらの交流があるまちの様子は、映像そのままである。

海と山の迫ったこの地は、放浪記でお馴染みの林芙美子さん生誕の地である。毎年開催される「林芙美子忌の集い」は、地域と林芙美子資料保存会が主催し、北九州市立文学館、門司文化団体連合会が共催、今年は6月26日に小森江西市民センターにて30回目を迎える。

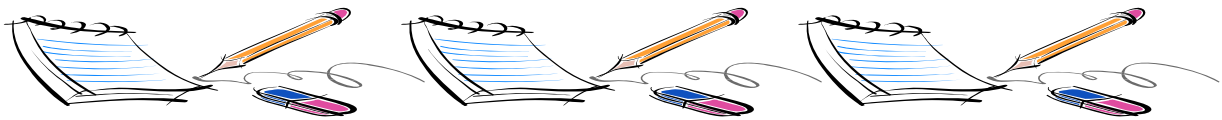
門司港レトロとちょっと違う、人情と文化の香りがする自然に満ちたこの地へ一度足を運んでみませんか。



小森江西市民センター館長

渡部 アサ子

第113回 サポートセンターの日 2011/5/25



☆NPO活動発表会☆

全ての人に教育を ～学ぶこと・学べることって幸せ～

☆発表内容☆

「青春学校～出会い・ふれあい・まなびあい～」

「青春学校」は、1994年5月26日に様々な理由で学校に行けなかった人たちが学べる日本語識字教室・夜間学級として始まりました。「青春学校」という名前には、「今から青春をとりもどそう」という思いが込められています。

現在、「であい・ふれあい・まなびあい」をモットーにハルモニ、オモニ、高齢者、就学免除の方等を対象として穴生市民センターで毎週木曜日、19時から21時まで学んでいます。

学習者20名とボランティア20名は1対1のペアを組み、パートナーとして深い人間関係を結び、「学び合う」ことの素晴らしさを実感しています。ボランティアの半数は社会人、半数は大学生で、10代から90代まで幅広い年齢層の人たちが関わっています。色々なものを抱えて生きている方達にふれることで、逆に私たちが教えられることも沢山あります。修学旅行や書初めなど季節の行事も楽しみの一つです。

設立の翌年から毎年、1年の学びの集大成として文集を発行してきました。学ぶ人たちにとって、字が読めたり書けたりすることは「人間としての誇り」に繋がっていることを実感します。2005年からは、自分史にとりくみ、自費出版しています。

青春学校設立から18年目を迎える現在、学ぶ方々が高齢化し、青春学校が担う役割も変化していきますが、これからも共にまなびあいながら活動を続けていきたいと思っています。



■スピーカー■

スタッフ：山本さん(左)・佐々木さん(右)

☆発表内容☆

「城南中学校『夜間学級』13年間の歩み」



■スピーカー■
事務局 林 静一路さん

「文字を読んで理解したい」、「学校へ行って学びたい」というのは戦後の混乱の中で義務教育を受けられなかった人々の切実な願いです。そういう人たちの願いに答えて、「よみかき教室・城野」は1998年に週1日の自主「夜間中学」として発足しました。

初年度は週1回の識字学級、2年目からは1時限目を識字学級、2時限目を授業とし、現在は年間210日前後の授業をしています。

本来、そういった人々に「学習の場」を提供するのは行政の責務であるということで、「北九州市に夜間中学を作る会」を1998年に設立し、市に公立化をもとめる運動をしてきました。

その成果として、2005年度から教育委員会から運営費の補助が出るようになり、初年度は100万円、2007年度には150万、2009年度には250万円になりました。それにより1日3時間の講師料とスタッフの交通費も出せるようになりました。

2011年3月、5年間の暫定期間が過ぎ、つくる会と市との協議で、学ぶ人がいる限り補助は継続されることが決まり、「つくる会」は本年度をもって発展的に解消されることになりました。

現在、不登校だった若者も参加して生徒25名が在籍、スタッフ32名がいます。月曜日から木曜日までは城南中学校を、金曜日は城野市民センターを利用し、毎日10人前後の生徒と7～8人のスタッフで中学校の9教科を学んでいます。関わっているボランティアは「教育の原点」を思い出し、「共に学ぶ」喜びを感じられるといえます。

今後、夜間学級は「生徒」が高齢化し、いずれその火が消えるまで、市が補助金を出し、ボランティアによる自主運営をする「北九州方式」で続け、「違いを認め共に生きる」を合い言葉に日々学んでいきます。

講座・イベント・情報

◆◆第9回 かがやけ！えがおのワンコインコンサート

障がいのある方もない方も、高齢者も子どもたちも
みんなで一緒に楽しいコンサートを創りましょう！

○日時：7月2日（土）13：00～16：00

※12：00～13：00 バザーを行います。

○会場：北九州芸術劇場 大ホール

○参加費：500円

○主催：問合せ先：

百瀬ミュージックボランティアグループ

ワンコインコンサート実行委員会

TEL093-962-7977



助成金情報

◆◆第9回北九州チャンピオンズカップ国際車椅子 バスケットボール大会 ボランティア募集！

私たちと一緒に大会を盛り上げてくれるボランティア
を募集します。

○開催日：10月14日（金）～16日（日）

○場所：北九州市立総合体育館

○内容：①会場運営ボランティア 事前研修2回あり。

②大会PRボランティア

③試合の応援ボランティア

○募集期間：7月1日（金）～7月31日（日）

※応募用紙は、各市民センターとボラ協、障害者スポー
ツセンターなどに置きます。

○問合せ先：

①（社）北九州市障害福祉ボランティア協会

TEL 093-882-6770

②③北九州チャンピオンズカップ国際車椅子

バスケットボール大会実行委員会事務局

TEL 093-922-1432

支援情報タイトル	支援分野	主催	締切
財団法人伊藤忠記念財団平成23年度 子ども文庫助成「子どもの本購入費助成」 // 「病院施設子ども読書支援」 // 「子どもの本100冊助成」	子ども	社団法人 読書推進運動協議会	7/31
2012年Panasonic NPOサポート ファンド for アフリカ	国際	パナソニック株式会社	7/29
第7回 パートナーシップ大賞	NPO	特定非営利活動法人 パートナーシ ップ・サポートセンター	7/31
三井物産環境基金 東日本大震災復興助成	災害	三井物産株式会社	7/29
平成23年度 公益信託 大成建設自然・歴史環境基金	環境	大成建設株式会社	7/29
平成23年度 公益財団法人日野自動車グリーンファンド		公益財団法人日野自動車グリーンファ ンド事務局	7/31
財団法人みずほ福祉助成財団 「社会福祉助成金」	福祉	財団法人 みずほ福祉助成財団	8/1

※詳細は当センターのホームページに掲載しております。

また、当センターの助成金コーナー（ラック）には紙ベースでの情報を設置しております。

知って納得、NPO・ボランティアのあれこれ

Q. NPO法とはどんな法律ですか？

A. 正式な名称を特定非営利活動促進法といい、平成10年3月に成立し、同年12月に施行されました。
ボランティア団体や市民活動団体などの特定非営利活動を行うことを主たる目的とした団体に、法人格を付
与することが、その主な内容となっています。

特定非営利活動とは、この法律に定められた17分野の活動で、不特定かつ多数のものの利益の増進に寄
与することを目的とするものを言います。

なお、この法律ができた背景には、民法34条に定められた社団法人などは設立要件が厳しかったため、
多くの市民活動団体などが、任意団体のまま活動せざるをえない状況にあったことなどがあります。



NPO法人の申請・認証状況

全国のNPO法人の申請・認証状況

平成10年12月1日～平成23年4月30日現在

	申請受理数 (含む申請中)	認証数 (現在数)
都道府県	40,716	39,227
【福岡県】	1,479	1,437
内閣府	3,546	3,329
全国計	44,262	42,556

北九州市のNPO法人の申請・認証状況

平成10年12月1日～平成23年5月31日現在

	受理数 (認証数+現在申請中)	認証数 (現在数)
【北九州】	270	268

2011年5月に認証された特定非営利活動法人

●NPO法人ケアマネット21 (5月31日)

●特定非営利活動法人たんぼぼ (5月31日)

新しい専門相談員です。よろしくお願ひします!!



早川 みどり
(特定非営利活動法人たんぼぼの家)

分野：社会教育・NPO活動支援
趣味：コーヒーやお酒を飲みながらおしゃべり

市民団体を運営し、運営上の問題やNPOの人間関係の難しさを肌で感じてきました。NPOの様々な問題点を一つ一つ、皆様と一緒に考え、解決に向かうよう、お手伝いをしていきたいと思っています。

北九州NPO研究交流会 定例会(108回)

時がたち、NPO法施行から13年が過ぎました。「地域」「協働」「マネジメント力」「自治」「つながり」……すべてが重要なキーワードです。N研も、専門的な議論の場を設けたり、より多様な団体個人の参加が高まることを目指して、協働や福祉の各専門部会活動を試みたり、市民サミットへの参加をしてきました。

定例会のタイトル「市民がまんなかの地域づくり～変化するしくみを活かす!」「ここで生きたい・死にたいと思えるまちに～地域があぶない! インフォーマルサービスの担い手を考える」などには、これからどう自治を育み、たくさんの人の「参加」をデザインしていくか、という思いがこめられています。時代は、NPOに限らず、企業も行政も各々の個性を活かしつつ「新しい公共」をどう創出するか、という転換点に立っています。NPOが地力をつけてこの街を支える、その出会いの場のひとつになれますように……。

定例会は続いていきます。みなさまのご参加をお待ちしています。

(定例会：毎月第2金曜日 18:30～)

N研さん、
ありがとうございました☆



編集後記

毎朝連続テレビ小説「おひさま」を見て出勤しています。もう泣けて、泣けて…。主演の井上真央さんの可愛らしさも楽しみの一つですが、舞台になっている時代背景に新鮮さを感じています。戦前から戦中にかけての女性の地位や役目を知り、今では当たり前のような常識が、その時代では考えられなかったことに驚く毎日です。最近のビックリは、お見合いから結婚までの早さ。今こそ「スピード婚」などと騒がれますが、あの時代は珍しくは無かったのかもしれない。出逢いに運命を感じる主人公の純粋さと素直さ! 見習わなければなあ～と、求め心の多い自分に反省する毎朝です(^_^;) by ポシヨ



北九州市市民活動サポートセンター

〒803-0814 北九州市小倉北区大手町11-4

北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”1階

TEL 093-562-5309 FAX 093-562-5310

URL <http://www2.kid.ne.jp/v-net/> E-mail: support3@axel.ocn.ne.jp

市民活動サポートセンターでは、NPO・ボランティア活動に関する相談や情報の提供を行っています。また、団体間のネットワークづくりの促進のため、定期的な交流会を開催しています。

◆サポートセンターの日 …毎月テーマを変えて、交流会をしています。

◆専門相談員が相談に対応…月～土曜日 17:00～21:00
日曜日・祝日 13:00～17:00

◆ミーティングコーナー…パーティーで仕切った無料の会議室。

◆掲示板スペース…団体や活動に関するチラシ等を掲示しています。

◆利用時間 月曜日～土曜日《10:00～21:00》
日曜日・祝日 《10:00～17:00》
【休館日】6月30日(木)・7月28日(木)